

構成市町の紹介



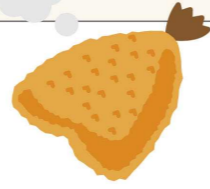
佐世保市

世界で最も美しい湾「九十九島」に代表される、豊かな自然に恵まれた街。旧海軍の軍港として栄えた歴史をもち、米海軍基地のある国際色豊かな港街でもあります。「ハウステンボス」など観光都市としても知られています。



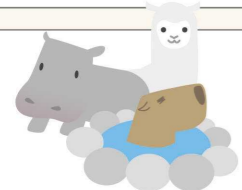
平戸市

異国情緒にあふれ、世界遺産とともに西洋貿易の文化、自然、食を体感できる唯一無二の街として国内外から多くの観光客が来訪しています。



松浦市

刺身で食べられるほどの新鮮なアジを、アツアツ・サクサクのアジフライにして市内各店舗で提供。松浦市は「アジフライの聖地」を宣言しています。



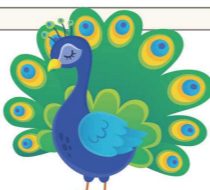
西海市

音浴博物館は、山の中にある廃校を利用した体験型の博物館です。100年以上前の蓄音機やオーディオの名機が展示されています。レコードは約16万枚収蔵され、好きな曲を自由に聴くことができます。



東彼杵町

「そのぎ茶」ブランドで親しまれるお茶は、全国茶品評会において平成29年度以降、蒸し製玉緑茶の部で5度の農林水産大臣賞を受賞。さらに、日本茶アワードでも4度の「日本茶大賞」に輝いています。



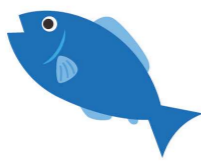
川棚町

大崎くじゃく園には、昭和38年にインドから友好の印として贈られた色鮮やかなインドクジャク約200羽がいます。春から初夏には、求愛のため雄たちが紺青色のきれいな羽を広げます。



波佐見町

400年の伝統をもつ「波佐見焼」。時代のトレンドや生活者ニーズを敏感に感じ取り、いち早く新しいものづくりに挑戦する、おしゃれで使いやすい「カジュアルリッチ」な陶磁器です。



小値賀町

リゾート施設もコンビニもあります。あるのは採れたてのおいしい野菜と、脂がのった新鮮な魚、昭和の懐かしい風景と、気さくで温かい人の心、おもてなしの心です。



佐々町

まちのシンボルである「佐々川」は、生物の多様性に富んでおり、春の風物詩であるシロウオのほか、カプトガニやハクセンシオマネキなどの希少生物も生息している魅力的な自然の宝庫です。



新上五島町

かつて遣唐使の寄港地であったことから、中国大陸をルーツとする日本の麺ロードの出发点とされています。日本三大うどんの一つである五島うどんは、「手延べ」の伝統製法を守り、千数百年の歴史を刻み続けています。



伊万里市

江戸時代、将軍家への献上品の製作技法が漏れないよう藩窯が移された「秘窯の里」大川内山。高度な技法を受け継ぎながら新たな技術を取り入れ、約350年以上の歴史を現代に伝えています。



有田町

17世紀初頭、泉山で陶石が発見され、日本で初めて磁器が焼かれました。磁器生産の町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。春の陶器市は100万人を超える来客で賑わっています。

西九州させぼ広域都市圏

西九州させぼ広域都市圏ビジョン（第2期）を策定しました

平成31年に形成した「西九州させぼ広域都市圏」では、佐世保市を連携中枢都市（中心市）として、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町、伊万里市、有田町の12の自治体が行政区域の枠を超え、様々な分野においてスケールメリットを生かした取組を進めています。

この度、第2期となる西九州させぼ広域都市圏ビジョンを策定しました。“メガトレンド取込”“経済の域内循環”“外貨獲得”の3つの視点をもって、人口が減少しても域内の誰もが豊かに暮らせる圏域づくりを目指し、さらなる取組を進めていきます。



あなたが かえるまち 西九州

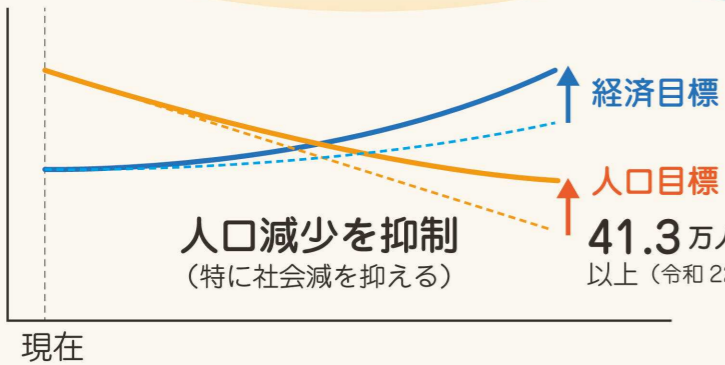
- 変える** 暮らしや地域をより良く変える
- 還る** 他の地域に出たとしても再び圏域に還る場所がある
- 替える** 圏域内に住まいを替える

手段・視点

- メガトレンド[®] (GX等)
- 経済の域内循環 (地産地消等)
- 外貨獲得 (交流人口増・GX)

連携による
今ある力の最大化

連携による
新たな価値共創



主な K P I (重要達成度指標)

1 利益を上げた企業の割合

41%/年 → 50%/年

2 農水産物総生産額

411億円/年 → 525億円/年

3 観光消費額

811億円/年 → 1,523億円/年

4 圏域滞在人口率[※]

平日 103% → 106%

休日 104% → 106%

※圏域外からの人の流入状況(通勤、買物、観光等)を把握するための指標のこと

圏域全体の経済成長のけん引

産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略のための体制整備

- 1 西九州させば広域都市圏ビジョン懇談会等運営
- 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

- 3 農水産物等特産品販路拡大
- 4 共同物産展の開催

取組事例.1

戦略的な観光施策

- 5 広域連携による周遊観光の推進
- その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

- 6 自治体新電力を活用したGX事業の構築
- 7 圏域内企業の認知度向上

高次の都市機能の集積・強化

高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

- 8 高度な交流拠点整備の検討
- 9 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化

その他、都市機能の集積・強化に係る施策

- 10 世界遺産の保全活用
- 11 伊万里港ポートセールスの推進
- 12 海洋エネルギーの推進
- 13 アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)推進
- 14 佐世保中央公園の利用促進

取組事例.2

生活機能の強化に係る政策分野

- 15 地域医療の確保に関する取組
- 16 在宅医療・介護連携推進
- 17 障がい福祉サービスの充実
- 18 療育機能の改善
- 19 病児・病後児保育室の利用に関する連携
- 20 幼児教育センターのサービス提供
- 21 ファミリー・サポート・センターの充実
- 22 図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)
- 23 図書館相互利用サービス

取組事例.3

取組事例.4

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- 24 少年科学館事業・理科学習支援
- 25 サテライトあすなる教室運営(学校適応指導教室)
- 26 中心市文化芸術プログラムの広域連携
- 27 スポーツ施設相互利用検討
- 28 栽培漁業の広域連携
- 29 赤潮監視装置設置
- 30 災害時における相互応援体制の確立
- 31 防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上
- 32 圏域内のエコライフ推進
- 33 ごみの広域処理に関する研究

結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- 34 広域圏サポーターの拡大
- 35 移住・定住連携窓口の広域圏活用
- 36 離島地域の移住・観光における広域連携の研究

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- 37 男女共同参画啓発
- 38 人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成
- 39 教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)
- 40 公民連携プラットフォームの形成

取組事例

1. 西九州食財プロジェクト

農水産物の生産や流通、市町等関係者が一体となって、展示会出展やバイヤー向け産地視察等を行う販路拡大事業です。



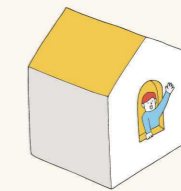
2. 佐世保中央公園

令和4年4月にリニューアルされた公園。屋内遊び場やキャンプ場など、圏域の憩いや交流の場として利用されています。



3. 病児・病後児保育室の利用

病児・病後児保育室とは、病期中または回復期のお子さんを家庭で保育できない場合、小児科や保育施設に併設された専用スペース等で一時的にお子さんをお預かりする施設です。居住地に関わらず勤務先などに近い施設を利用することができます。



勤務先などに近い施設を利用可能

4. 図書館相互利用サービス

他市町の図書館の本を利用できたり、他市町の図書館に出向くことなく居住地近郊の図書館に返却ができます。

他市町の本も読めるよ

